



令和6年度補正GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧《R7.7月現在》 (東日本)

新潟県（錦鯉）

<新潟県、新潟県内水面試験場、養鯉業・流通業者等が参画>

- ▶新潟県内水面水産試験場にて確立された梱包環境改善技術を用いて、輸送時間の延長を検証

新潟県（コメ）

<新潟県、JETRO、クボタグループ、生産者、市、JA等が参画>

- ▶高温耐性新品種の栽培実証において、生育調査や生産コスト調査、品質食味調査を実施
- ▶産地と輸出事業者の連携による、生産・輸送コストの低減やアメリカ向け新規商流の構築



グローバルもも輸出産地協議会（もも）

<アグベル株式会社、周辺生産者、金融機関、物流機関等が参画>

- ▶収量・品質の安定化を図るため、耕作放棄地を活用した生産園地の拡大
- ▶輸出ロット拡大と販路拡充を推進するため、直接輸出体制の構築やローカル市場の新規開拓

グローバルぶどう輸出産地協議会（ぶどう）

<アグベル株式会社、株式会社アグベル桜川、金融機関、物流機関、その他生産者等が参画>

- ▶輸出相手国の残留検査に対応するためハウス型雨よけを導入し、良品のぶどうの大ロット生産を実施
- ▶専用鮮度保持資材の開発及び実証



静岡県かんしょ輸出促進協議会（かんしょ）

<ジャパンベジタブル株式会社、株式会社日本農業、静岡県、タタラ商店が参画>

- ▶ダブルキュアリング処理による日持ち向上効果の検証と流通試験を実施



静岡茶輸出拡大協議会（茶）

<静岡県、茶業関係団体、茶商、生産者等が参画>

- ▶有機栽培への転換や、有機転換による土壌の細菌数やバイオマス量などへの影響の評価、及び有機碾茶生産に適した被覆資材の検証
- ▶海上輸送時の高温による品質劣化を防ぐために、断熱資材を用いた品質維持・単価向上効果の検証



アスノツガル輸出促進協議会（りんご）

<株式会社日本農業、株式会社RED APPLE が参画>

- ▶高密度植栽培の推進及び生産オペレーションの改善
- ▶大型コンテナを導入し、リフト運搬を実証



芦別RICE北海道米輸出拡大推進協議会（コメ）

<株式会社芦別 RICE、有限会社あしべつグリーンファーム、株式会社増田農園等が参画>

- ▶温室効果ガス抑制の取組みや、生産向上のための技術提供及び農薬資材等の共同購入
- ▶食感測定器のリース導入による精米の品質管理体制の強化

北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会（かんしょ・たまねぎ・コメ）

<北海道、ホクレン、JA北海道中央会、JETRO等が参画>

- （かんしょ）
 - ▶鮮度保持輸送実証試験を行い、品種・時期等の品質差を検証
- （たまねぎ）
 - ▶高付加価値につなげるため、輸送時の品質劣化（カビ等）対策として、品種や栽培方法を検討
- （コメ）
 - ▶試験圃場を設け、減農薬栽培体系を実証するとともに、EU基準での残留農薬検査を実施



山形県（コメ）

<山形県、県内流通事業者、生産者が参画>

- ▶新品種「ゆきまんでん」の省力技術や作業時間及び生産コストの検証
- ▶テスト輸出及び現地における求評調査の実施

千葉県産米輸出拡大協議会（コメ）

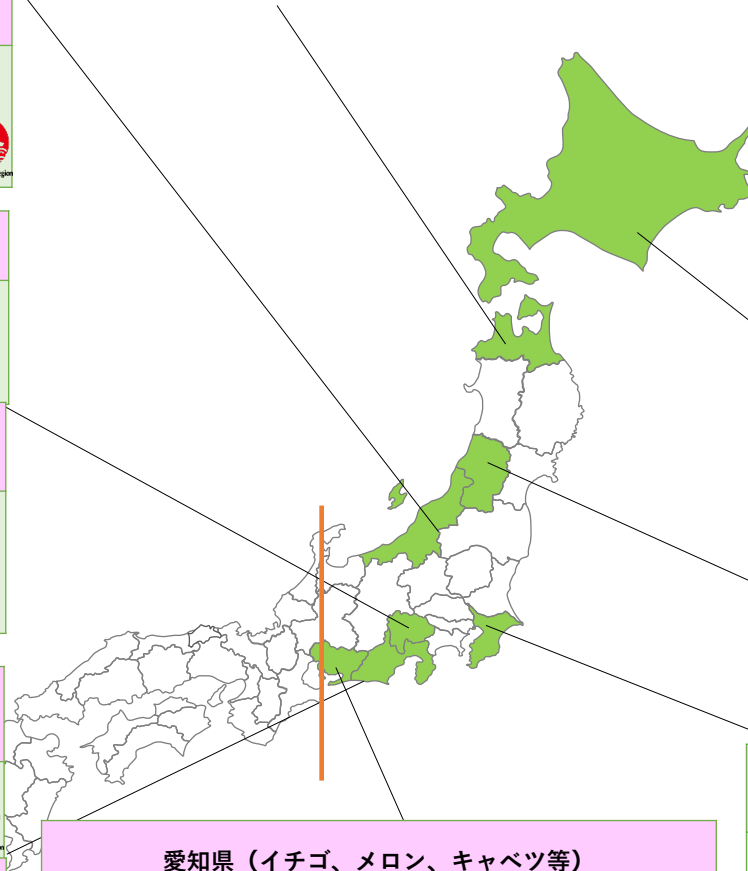
<株式会社つばめ農園、豊田通商株式会社、その他生産者が参画>

- ▶多収品種「ハイブリッドとうごう」シリーズの直播栽培による低コストの実証
- ▶小ロット配送（生産者⇒一次倉庫）と大ロット配送（一次倉庫⇒倉庫 or 実需者）の併用による輸送コスト削減の実証

愛知県（イチゴ、メロン、キャベツ等）

<豊橋市原広域農業推進会議、豊橋温室園芸農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、あいち豊田農業協同組合等が参画>

- ▶輸出推進体制の整備により、新たに輸出に取り組む産地・生産者を掘り起こし、県内での品種や産地リレー等を実施
- ▶産地から現地販売店まで、地元インフラ（中部国際空港、名古屋港）を活用した輸出ルートを構築





令和6年度補正GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧《R7.7月現在》 (西日本)

愛南の真鯛輸出拡大連携協議会（養殖マダイ）

<愛南漁業協同組合、愛南漁協魚類養殖協議会、有限会社ハマスイ 等が参画>

- 国際水産エコラベル認証取得・管理円滑化のためのフォーマットを整備
- 加工機能強化に向けた調査・検討等を実施



えひめ愛フード推進機構（河内晩柑）

<愛媛県、愛南町、JAえひめ南等が参画>

- 緊急防除における散布時期や代替農薬等を検討
- 販路開拓・拡大に向けた現地での営業活動を実施



愛媛かんきつ輸出促進協議会（かんきつ・加工品）

<愛媛県農林水産部、遠赤青汁、西南セイフティグループ等が参画>

- 耕作放棄地や再生畑を活用した有機かんきつの面積拡大
- 生果・加工品の品質統一のための基準を整備
- 有機かんきつ加工品を主力としたプロモーションによる海外販路開拓を実施

北部九州いちご促進協議会（いちご）

<UluuJapan、うるう農園、福岡ストロベリーパーク、佐賀県等が参画>

- 台湾向けに経済性の高いいちご栽培技術の確立（収穫効率化・人的作業の省力化・品種検討・開発）

熊本県（メロン、いちご）

<熊本県、JA熊本経済連、JA、輸出商社が参画>

- （メロン）産地バンニングへの変更によるロス率低減の実証
- （いちご）国内輸送日数短縮に向けた検証

鹿児島オーガニックティー協議会（有機緑茶）

<ヘンタ製茶有限公司、有限会社霧島中央製茶等が参画>

- 「もが茶」生産拡大のため、耕作放棄地や離農者の圃場を活用

鹿児島県（かんしょ、キャベツ、ブリ、カンパチ）

<鹿児島県、Japan potato、大吉農園、垂水市漁協が参画>

- （かんしょ）ほ場の有機転換に係る栽培・技術指導や資材導入
- （キャベツ）品種リレー出荷体制の確立
- （ブリ）解凍後の褐変抑制試験の実施
- （カンパチ）人工種苗の安定供給体制の構築



なると金時北米輸出拡大協議会（かんしょ）

<農家ソムリエーズ及び契約生産者、徳島県、育川合同会社、（公社）徳島県産業国際化支援機構（略称：IGAT）等が参画>

- 有機JAS転換圃場にて、苗・栽培方法（施肥・防除）・作付け方法を一括管理。
- データロガーを活用し、品質変化を最小限に留める仕組みの確立



日本スマートオイスター輸出連携協議会（殻付き牡蠣（活き・冷凍））

<株式会社リプル、輸出商社が参画>

- IoTシステムを活用したシングルシード養殖を拡充し、輸送に適した牡蠣を安定供給する体制を構築
- 最適な輸送ルートの確保やコンテナ単位での大ロット輸出を前提とした流通体制の構築

三重県養殖魚輸出産地協議会（養殖ぶり、養殖まだい）

<三重漁連、三重県、三重県海水養魚協議会等が参画>

- 高水温期におけるブリの斃死対策として、養殖ブリの育成用エサの給餌試験を実施



伊勢茶輸出プロジェクト（茶）

<川原製茶、萩村製茶、深緑茶房、茶来まつさか等が参画>

- 新たな有機肥料の開発と施肥体系の実証

京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会（茶）

<京都府、JA茶業部会、茶生産組合、茶商等が参画>

- 減農薬栽培等の実証とともに、集荷・混載・冷蔵輸送の輸送コスト低減効果と品質保持効果を検証

奈良県（いちご）

<奈良県、県内イチゴ生産団体、奈良県農協等が参画>

- 生物農薬と物理的防除技術等の併用による、化学農薬の使用を抑えた生産体系の実証

台湾輸出拡大協議会（長芋、ブロッコリー、キャベツ）

<富永商事株式会社、帯広地方卸売市場株式会社等が参画>

- （長芋）台湾市場向けサイズの安定生産のための実証
- （ブロッコリー）鮮度保持資材の比較実証
- （キャベツ）適正重量での梱包方法の確立

大分県（シャインマスカット、柑橘）

<大分県、大分県農業協同組合、ブランドおいた輸出促進協議会が参画>

- （ぶどう）産地間リレー出荷体制の確立・貯蔵期間の長期化
- （柑橘）品種リレー出荷体制の確立

宮崎県（きんかん）

<宮崎県庁、みやざき『食と農』海外輸出促進協議会、J Aみやざき、トレードメディアジャパンが参画>

- 台湾向け防除暦を改良し、残留農薬検査体制構築を検証
- 暑熱対策等の収量・品質向上技術の実証



: 認定フラッグシップ輸出産地が含まれているもの